

映画上映会・講演会のご案内(シンポジウム同時開催)

日時 平成 21 年 8 月 1 日(土) 13 時～17 時 入場無料

場所 名古屋経営短期大学文化センター3 階 大ホール

第 1 部 映画上映会・講演会 (13:00～15:20)

「いのちの作法」～沢内「生命行政」を継ぐ者たち～



人間らしく生きる。
人間らしく輝く。
みちのくからのメッセージです。

生命の尊厳とは何か？福祉社会とは何か？・・・

地方行政の姿から、日本の有るべき姿が 未来が見える。

◆ 内 容 ◆

日本初の老人医療費無料化や乳幼児死亡率ゼロの達成で名高い岩手県旧沢内村(現西和賀町)。その「生命尊重の理念」は、今も西和賀町民の心に深く刻まれています。

『いのちの作法』は、約6ヶ月間、西和賀の人々に寄り添い撮影されてきました。そこには、“老人”や“障害者”、そして“虐待を受けた子ども達”に向き合う人々の姿が記録されています。小さな地域で生きる人々の姿は限りない「優しさ」を教えてください。ドキュメンタリー映画だからこそ見える、リアルな人間の姿が「生きる勇気」を与えてくれます。

小池 征人 監督《プロフィール》1944 年、満州生まれ。1967 年、中央大学法学部を卒業。主な監督作品に、『脱原発元年』(1989 年)、『免田栄・獄中の生』(1993 年)。ともに毎日映画コンクール記録文化映画賞受賞。ほか多数。

第 2 部 シンポジウム (15:30～17:00)

「介護という目線～ナラティブホームの現場から～」

シンポジスト

佐藤伸彦(市立砺波総合病院地域医療部・内科部長)

小池征人(「いのちの作法」映画監督)

尾張旭市職員(予定)

コーディネーター

加藤佳子(名古屋経営短期大学 健康福祉学科・学科長)

佐藤 伸彦 医師 《プロフィール》1958 年東京生まれ。国立富山大学薬学部および同大学医学部卒業。砺波サンシャイン病院で副院長として、高齢者医療にかかわった後、現職。ナラティブホーム構想の提唱者として全く新しい高齢者医療システムを構築。

◆ 内 容 ◆ 富山県砺波市で、先駆的に取り組まれたナラティブホーム立ち上げに奮闘している佐藤医師の現場報告を通して、介護士、看護師、家族等の介護という目線について考えます。そして現在福祉・介護に携わる人たちや、これから福祉・介護分野へ参画しようとする人々に、福祉・介護の質を問いかけます。このシンポジウムに先立って上映される「いのちの作法」の小池監督と佐藤医師の、「生」をめぐる、地域の人々との関係性を軸に、シンポジウムは展開されます。それに健康都市尾張旭市の職員が加わって、身近な問題として現状を理解し、団塊の世代を含めた幅広い市民層すなわち、時代を作る市民層の力にエールを送ります。

【申込方法】 往復はがきまたはメールに、「上映会申込」と表記し、氏名、郵便番号、住所、電話番号を明記の上下記住所または、メールアドレスまでお申込みください。7月17日(金)締め切り(当日消印有効)。

【問合せ・申込先】 〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5 名古屋経営短期大学キャリア支援課
TEL 0561-55-3078 メールアドレス career@nagoya-su.ac.jp